

2020年5月4日

株式会社TBM
代表取締役 CEO 山崎 敦 義

4月10日に株式会社オルタナが記事で掲載した、 SPINNS 向け LIMEX 製袋の成分分析結果について

株式会社オルタナ（以下「オルタナ社」といいます。）による LIMEX 製袋に関する一連の記事（以下「本件記事」といいます。）については、既に本年4月20日付で「抗議文」を、また、5月1日付で「LIMEX 製袋の成分分析結果について」と題して、容器包装リサイクル法（以下「容り法」といいます。）上の問題が何ら存在しない旨の当社の認識を開示しております。

5月1日付の開示でご報告したとおり、オルタナ社から成分分析結果を公表された SPINNS 向けの袋製品について、第三者の検査機関による分析結果が届きましたので、関係者の皆様に添付のとおり、検査機関からの許諾を得て詳細な分析結果を公開するとともに、その概要について以下のとおりご報告申し上げます。

【分析結果の概要】

- 1 検査機関名 株式会社日東分析センター
- 2 分析方法 TGA 測定
- 3 分析結果 サンプル中の有機物量は45%、炭酸カルシウム量は53%、その他無機物は2%と求められた。

本件記事においてオルタナ社は、SPINNS 向けの LIMEX 製袋の成分を分析した結果、「プラスチック（ポリマー）が48.6%、炭酸カルシウムが41.1%」（いずれも重量%）だったことを根拠として、当社の製品を「容り法ただ乗り」である旨を指摘しております。

しかしながら、LIMEX 製袋の炭酸カルシウム含有量については、既にご案内のとおり、当社の協力工場において当社の指示通りの成分にて製造されていることを確認済みであり、当社においても正確性の高い分析手法により分析結果に容り法上の問題が何ら存在しないことについて確認しておりました。

また、今回、第三者の検査機関により、SPINNS 向けの LIMEX 製袋を構成する素材のうち重量ベースでもっとも比率が高い素材は炭酸カルシウムであるとの分析結果が計測され、容り法の委託料金の適用外となることを確認出来ました。

以上のことから、当社としては、LIMEX 製袋に関する容り法上の問題は何ら存在しない

ものと認識しております。なお、当社は、LIMEX について、当社ホームページ等において、炭酸カルシウムなどの無機物を 50%以上含む複合材料である旨定義しておりますが、今回の第三者による計測においても、LIMEX が当社の定義どおり製造されていることが改めて確認出来ました。

当社におきましては、お客様をはじめとするステークホルダーの皆様に対してご安心頂けますように、SPINNS 向け LIMEX 製袋以外のサンプルについても、第三者の検査機関による分析を独自に進めておりますが、これまで、容り法違反となる分析結果は一切存在しておりません。かかる分析結果につきましても、随時、しかるべくお客様にご説明をさせて頂く予定でございます。

以上

分析結果報告書

フィルム中の炭酸カルシウム定量分析

受付番号 2004-200093-2

株式会社 TBM 御中

4月16日に弊社にご依頼いただきました表題の件についてご報告致します。

2020年4月29日




株式会社 日東分析センター

- | | |
|----------|--|
| □茨木解析技術部 | 〒567-8680 大阪府茨木市下穂積 1-1-2
TEL 072-623-3381 FAX 072-626-7059 |
| ■豊橋解析技術部 | 〒441-3194 愛知県豊橋市中原町字平山 18
TEL 0532-41-7249 FAX 0532-41-8459 |
| □亀山解析技術課 | 〒519-0193 三重県亀山市布気町 919
TEL 0595-84-2859 FAX 0595-84-2871 |
| □東京営業所 | 〒108-0075 東京都港区港南 1-2-70
品川シーズンテラス 26F 日東電工（株）東京支店内
TEL 03-6632-2066 FAX 03-6632-2126 |
| □名古屋営業所 | 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄 2-3-1
名古屋広小路ビルディング 3F 日東電工（株）名古屋支店内
TEL 052-221-9198 FAX 052-231-0237 |
| □大阪営業所 | 〒567-8680 大阪府茨木市下穂積 1-1-2
TEL 072-623-3381 FAX 072-626-7059 |

フィルム中の炭酸カルシウム定量分析

1. 分析結果

株式会社TBMからの依頼で株式会社ヒューマンフォーラム(スピズ)様向けサンプル1検体に含まれる炭酸カルシウム量を把握するためにTGA測定を行った。その結果、サンプル中の有機物量は45%、炭酸カルシウム量は53%、その他無機物は2%と求められた。

担当者	協力者	照査者	承認者
豊橋解析技術部 荒山 岳人 			

2. 分析方法

2.1 試料

株式会社ヒューマンフォーラム(スピンズ)様向けサンプル 1検体

2.2 試料の調製

サンプルを約 10mg 採取して TGA 測定を行った。

2.3 分析装置および分析条件

装置	: TA Instruments 製 Discovery TGA
雰囲気ガス	: Air(25ml/min)
容器	: 白金製容器
温度プログラム	: 35°C→1000°C
昇温速度	: 10°C/min

[図表の説明]

図 1 TGA 測定結果

(添付資料 合計 1 枚)

Sample: (TBM)B_昇温Air
Size: 9.9989 mg

TGA

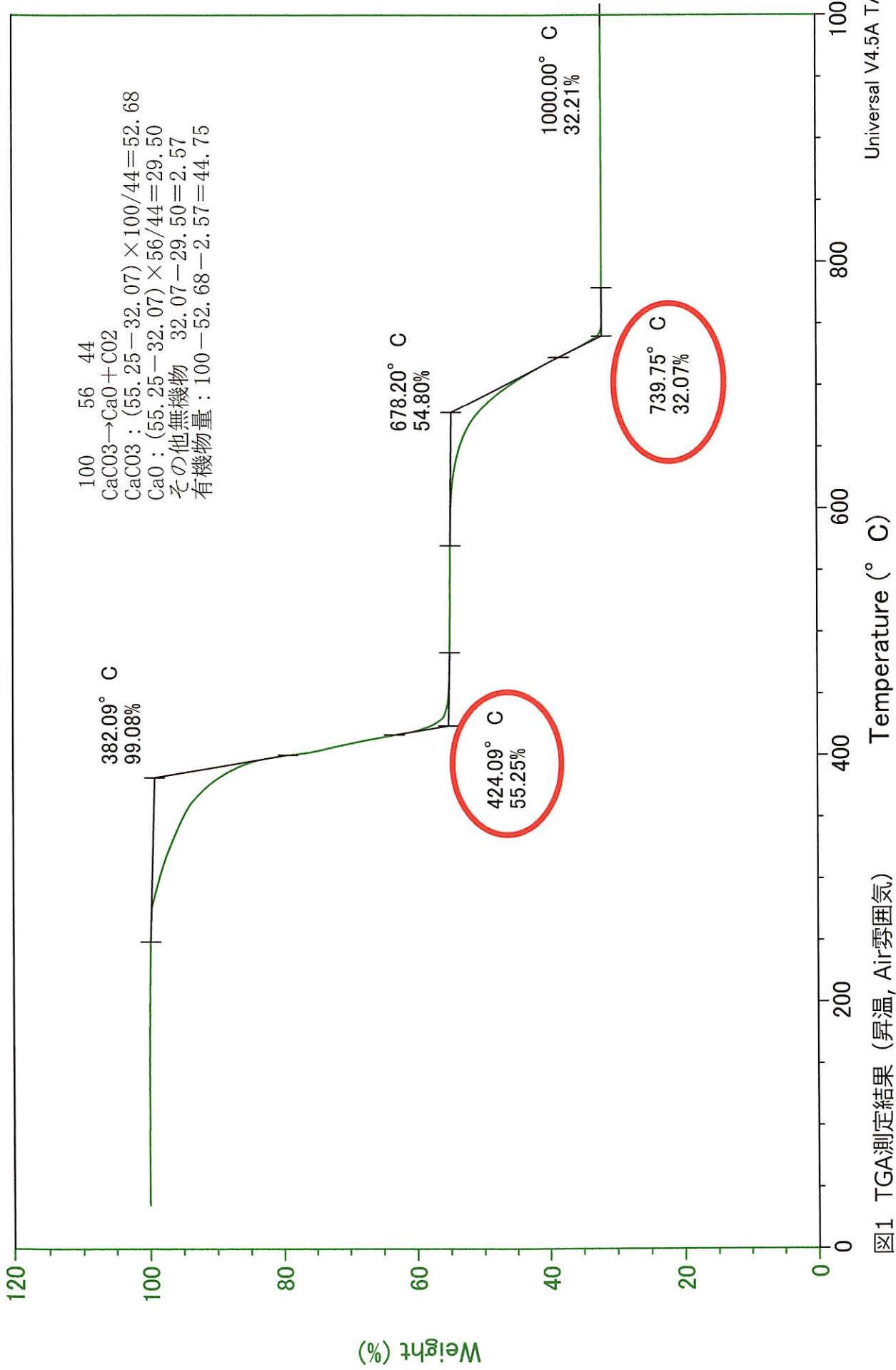


図1 TGA測定結果 (昇温, Air雰囲気)